

## 第3章 国東市の特徴

### (1) 地理的条件

#### 地理

本市は、大分県国東半島の概ね東半分を占めており、面積は318.10 km<sup>2</sup>となっています。北は周防灘、東は伊予灘に面し、西側は豊後高田市、南側は杵築市に接しています。国東半島の中央部に位置する両子山、文珠山、伊美山を中心に国東二十八谷と称される放射谷が形成され、谷筋を安岐川や田深川などの川が流れています。

#### ■位置

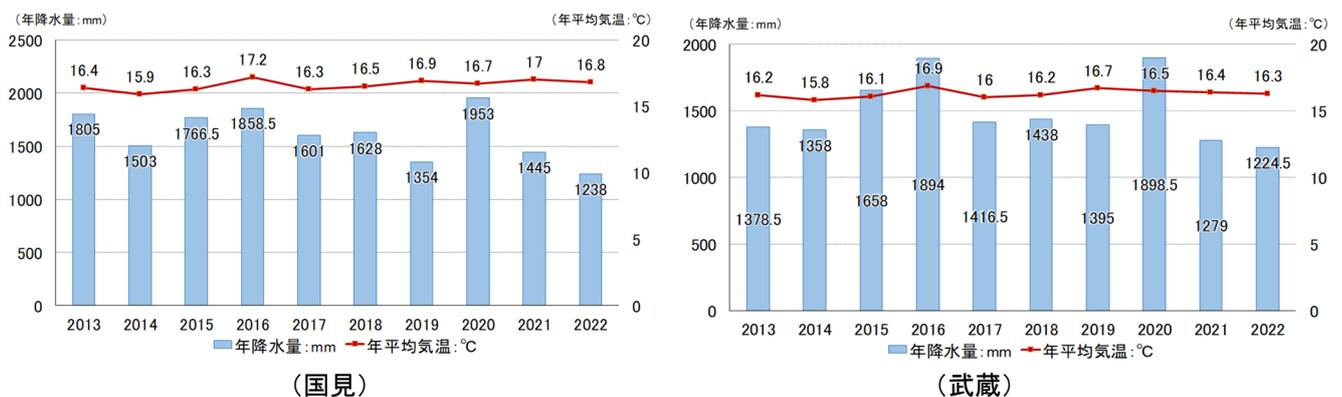


出典：国東市「国東市景観計画」

#### 気候

瀬戸内型気候に属し、比較的温暖な気候の地域です。市内には国見地域気象観測所と武蔵気象観測所が設置されています。

#### ■年平均気温と年降水量の推移



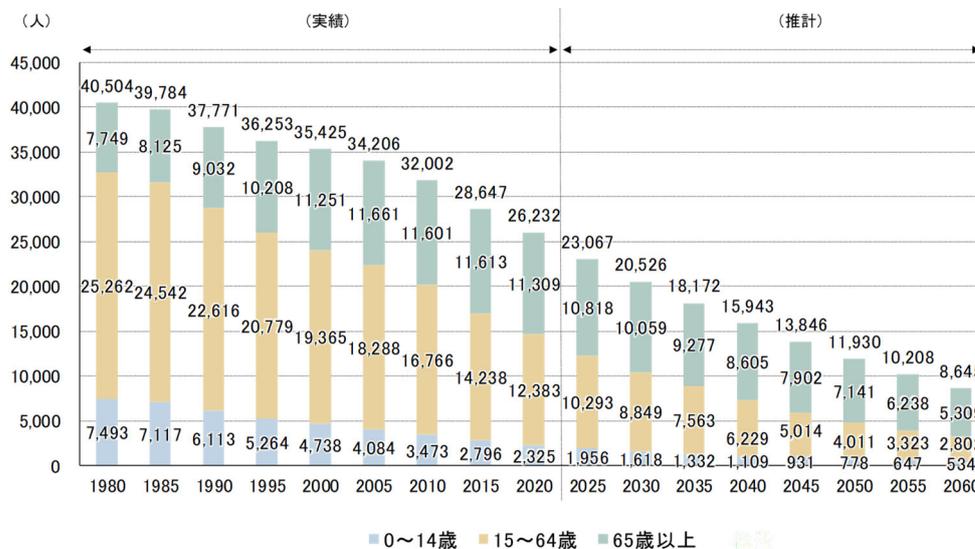
出典：気象庁「各種データ・資料（国見地域気象観測所）（武蔵地域気象観測所）」

## (2) 社会的条件

### 人口

本市では人口の減少が続いています。今後、人口減少がさらに加速し、2035年には、20,000人を割り、2060年には、約8,600人で65歳以上の割合が61.4%と、人口の半分以上を高齢者が占めると推計されています。

#### ■人口の推移と将来の見通し



出典：総務省統計局「国勢調査」

国東市「第2期国東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

### 交通

自動車の保有台数は、2013年度から徐々に減少傾向にありますが、人口よりも減少が緩やかであるため、市民1人あたりの自動車保有台数は増加傾向にあります。

#### ■年度別自動車保有台数

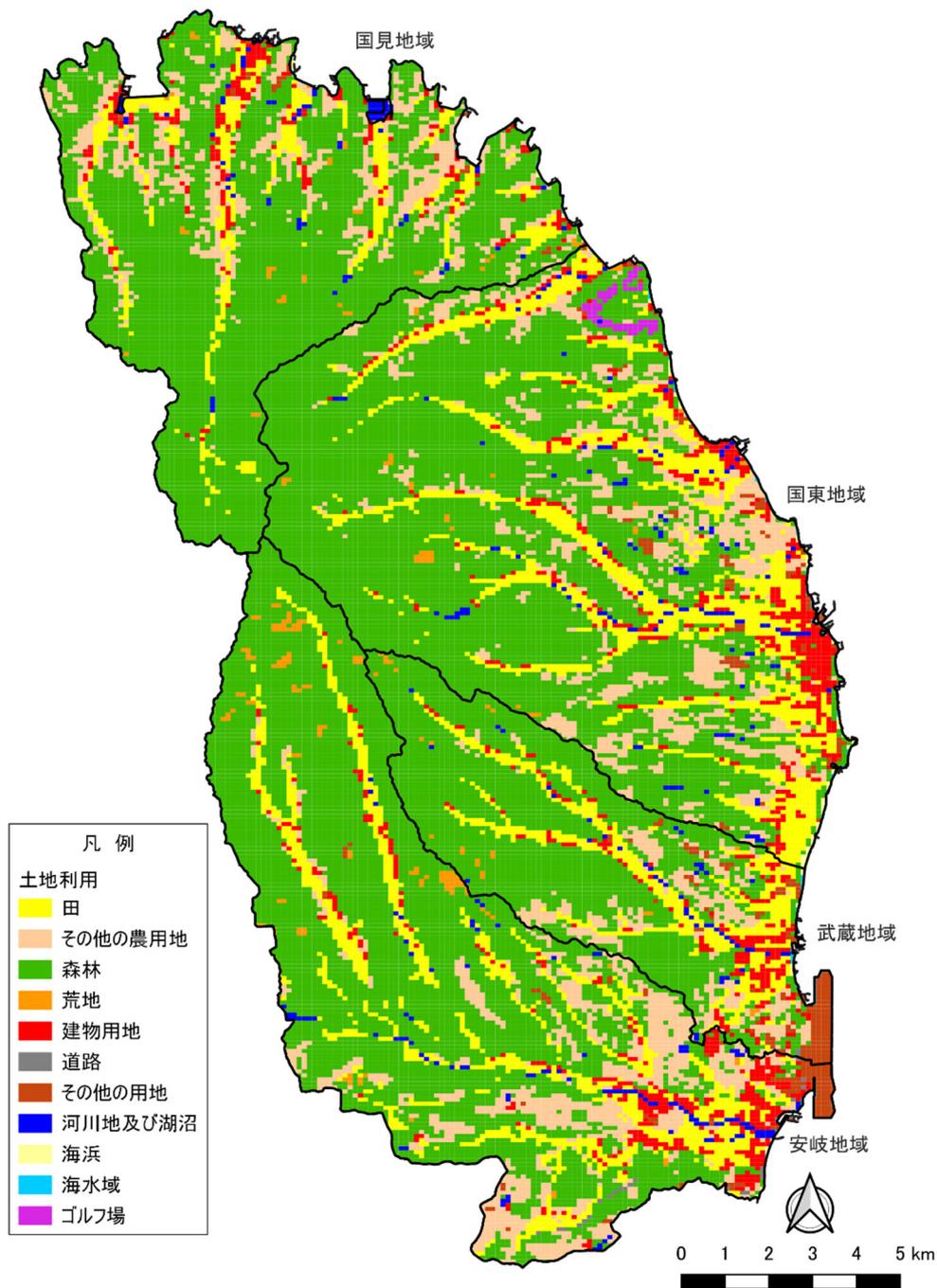


出典：大分県「大分県統計年鑑」

## 土地利用

建物用地は、国東町の市街地、安岐町・武蔵町の市街地、国見町の主要県道沿いにみられ、各地域の中心を形成しています。谷筋に沿って田が分布し、その他の農用地は、安岐町・武蔵町の市街地周辺、国東町の海岸部にみられます。また、本市の大部分には森林が広がっています。

### ■土地利用現況図

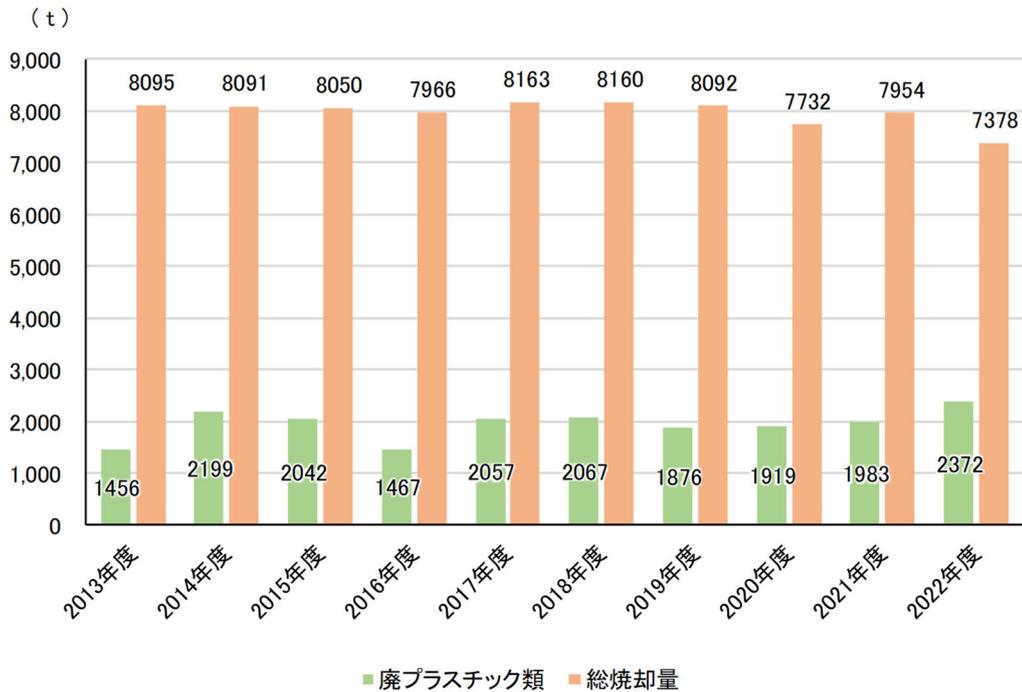


出典：国土交通省「国土数値情報」（令和3年度）

## 廃棄物

本市のごみは国東市クリーンセンターで処理しています。2022 年度のごみの焼却量は 2013 年度と比べて減少している一方、廃プラスチック類の焼却量は増加しています。

### ■国東市クリーンセンターのごみ焼却量

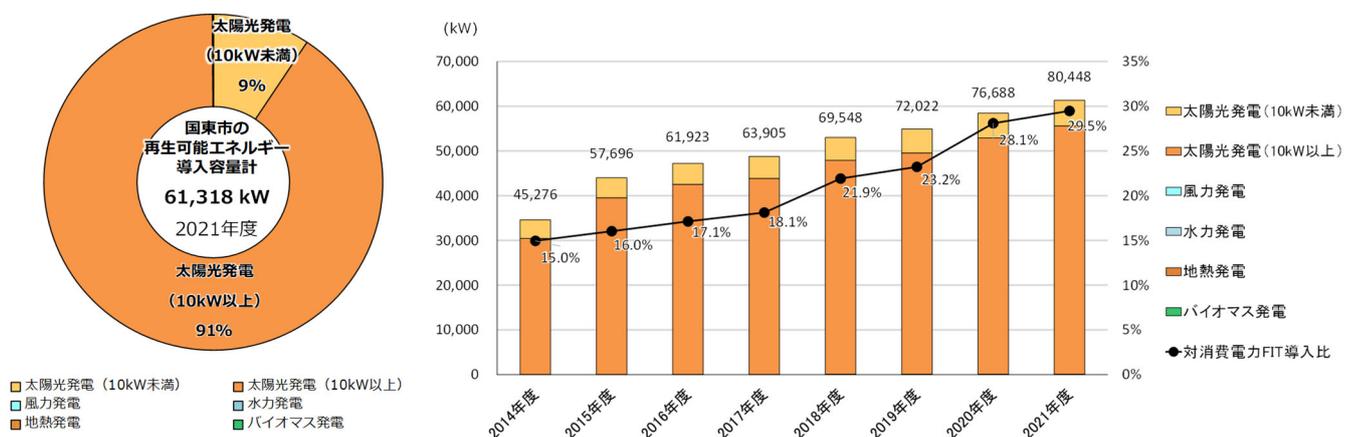


出典：国東市資料

## 再生可能エネルギーの導入

本市の 2021 年度の再生可能エネルギー導入容量の総計は 61,318 kW であり、容量 10 kW 以上の太陽光発電が 91%を占めています。導入量は、経年的に増加傾向にあり、2021 年度の導入量は、2014 年度と比較して約 2 倍に増えています。

### ■FIT 制度による再生可能エネルギーの導入状況



出典：環境省「自治体排出量カルテ」

### (3) 経済的条件

#### 総生産額・就業人口

2019 年度における本市の総生産額は、約 852 億円であり、大分県全域での総生産額の約 2%にあたります。総生産額は、2013 年度以降、微増の傾向にあります。一方で、就業人口は経年的に減少傾向にあります。

#### 農林水産業

比較的温暖な瀬戸内型気候を活用した農業と漁業が営まれています。

農業について、田畑では水稲、麦、大豆、樹園地ではミカン、キウイ、梨、施設栽培では小ネギ、花きなど、多品目にわたり生産が行われています。また、七島蘭は本市のみでしか栽培されていない作物です。

漁業では、アカモクなどの海藻類、たい類、たちうお、さわら類、たこ類などが漁獲されています。

農業及び水産業の就業人口は、どちらも減少傾向にあります。

#### 建設業・鉱業

建設業の生産額は、年ごとの変動が大きいものの、増加傾向にあります。建設業の事業所数及び従業者数は減少傾向で推移しています。

鉱業の生産額は本市の産業の中で占める割合が非常に小さいといえます。

#### 製造業

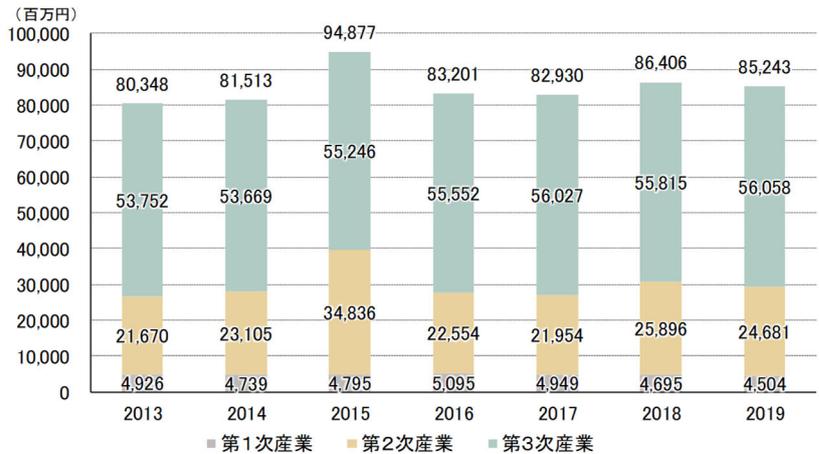
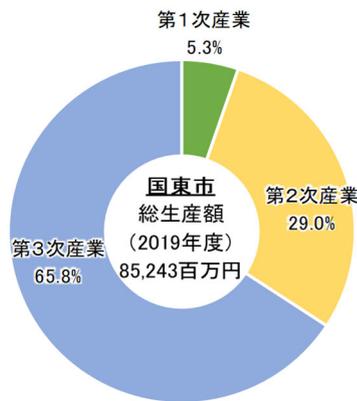
製造品出荷額等は、2007 年をピークに減少していますが、2013 年度から 2019 年度まで一定の水準で推移しています。2020 年度の製造品出荷額等は大きく減少しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による一時的な影響であると考えられます。

製造業の事業所数は、年ごとに変動はあるものの減少傾向で推移しています。従業者数は、2007 年度をピークに減少していましたが、2013 年度以降は一定の水準で推移しています。

#### 商業(業務その他)

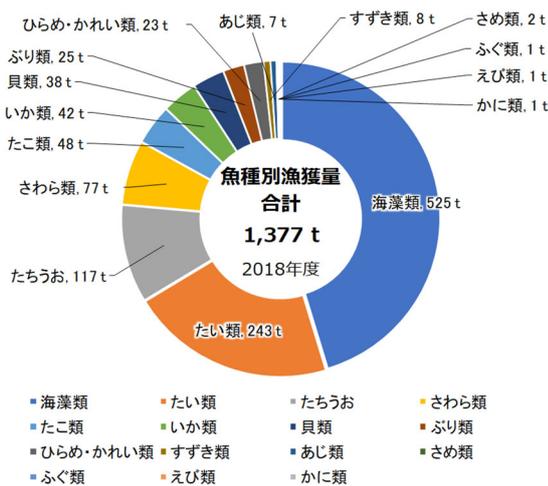
小売業の商品販売額は、1997 年度の約 263 億円をピークに減少傾向で推移しており、2021 年には約 161 億円まで減少しています。また、従業者数も減少傾向にあり、2002 年度の 2,099 人をピークに、2021 年度には 1,109 人に減少しています。

■産業別総生産額の割合と推移



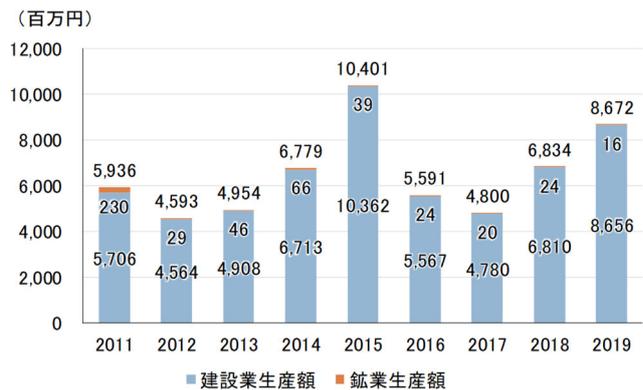
出典：大分県「大分の市町村民経済計算」

■海面漁業の魚種別漁獲量



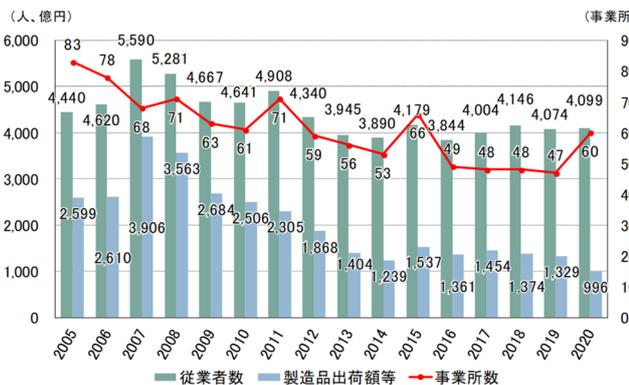
出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

■建設業・鉱業の生産額の推移



出典：大分県「大分の市町村民経済計算」

■製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



出典：経済産業省「工業統計調査」、「経済センサス」

■小売業年間商品販売額及び従業者数の推移



出典：経済産業省「商業統計」、「経済センサス」